



こんにちは
市会議員

井坂博文

です

発行/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町78/電話432-3261/F A X 441-4968

2月予算市会始まる

(2月24日)

17日、新年度予算案が発表された。今回の予算案は、先の京都市長選挙で当選した門川市長3期目の初年度予算になる。

選挙で市長が示した133項目のマニフェストの9割を盛り込んだという。そのマニフェストにおいて市長は「民間活力を生かして委託化・民営化を推進!徹底した行財政改革断行」を掲げている。

京都市は、すでに公共施設の統廃合や集約化をすすめる。国の地方創世総合戦略を率先して推進している。結局、自治体の公的責任を投げ捨て、さらなる市民生活を破壊する予算になる、と言わざるを得ない。

予算案に対する市会議員団の分析は、市会議員団のホームページにある「団長見解」を。



ゴミ屋敷の解決は急務

京都市のいわゆる「ゴミ屋敷」。市内に何カ所もあり、町内でトラブルになっている。

景観上も防犯上も解決が求められ、京都市は2年前に条例を制定して解決に乗り出している。誰も好き好んでゴミを貯めているものではないし、背景には何らかの要因がある。

だから行政による強制執行は最終手段であり、制裁的措置ではなく行政や近所・町内の粘り強いコミュニケーションと支援が必要である。しかし、ゴミ屋敷と隣り合わせに生活している住民は不安であり、感情は簡単にそう割り切れるものでもなく、トラブルとなっている。

北区等持院の近くにあるゴミ屋敷もその一例であり、一昨年の夏に近所の住民から苦情と相談があり、現場に足を運び、行政にも相談し対応してきたが、本人と会えず遅々として解決できなかった。

それが、ある事情で本人と接触できて、道路の上空にせり出して電線に覆いかぶさっている樹木について、道路法を活用して通行人の安全確保を

はかるために伐採することになった。先々週、関係行政機関の立ち会いのもと伐採され、塀から道路にはみ出そうしているゴミを抑えるために塀の補強もされた。屋敷の向かいの家が解体され売りに出されており、それも事態改善の理由になったのかもしれない。解決に向けて一歩前に進んだ。

画期的な

5野党党首会談の合意

19日のメモリアルデーに合わせて5野党党首会談が開かれ、戦争法廃止と立憲主義回復めざして、国政での選挙協力を合意した。

そこで20日、画期的な合意を報道する赤旗日刊紙を紹介しながら、北区の府市会議員揃って街頭で訴えた。

降りしきる雨にもかかわらず、通行する車からの声援や、正面にある市バス停から注目して聞いてくれる人など関心を集めていた。



自治体政策セミナーに参加

昨日20日から京都で開かれている自治体政策セミナー、昨日は残念ながら所用で欠席、今日は朝から来ている。

自治体問題研究所が主催して今年で40回を迎える歴史あるセミナー。

今日のテーマは「地方



創生」とコンパクトシティ。講師は奈良女子大学大学院教授の中山徹先生。午前中は、地方創生総合戦略と人口ビジョンをどうみるのか、自治体における課題について大変わかりやすい話と分析に、居眠りする暇もなく興味深く聞き入った。はつきりしたことは、地方の創生と言いつつ、国の戦略方針を交付金をちらつかせて上から押し付けるものであり、国のマニュアルに沿った

金太郎館の地方計画になっているということ。それがよくわかった。昼からは、コンパクトシティについて講義と質疑応答が始まる。やはり、理論武装が大事だ。

鷹峯のまちづくりを考える 住民集会

20日、北区鷹峯のまちづくりを考える会が開いた住民交流会。

地域に存在する市有地の市営住宅と小学校のグラウンドが売却されると、この市の計画に対して、住民が立ち上がり、住民アンケートを取り組んだ。

アンケート結果をまとめて、鷹峯地域に住み続けられまちづくりを考えようと企画し、京都のまちづくり市民会議の代表である片方信也先生が話題提供して、交流と意見交換した鷹峯の街並みと歴史がよくわかった。



寂しい父親

一昨年結婚した長女の夫が先週インフルエンザに感染。妊娠初期の長女は我が家に緊急避難し、職場に出勤していたが、今日自宅に帰還した。

久しぶりに寝食を共にした次女は、今行っている保育園での実習(姉妹ともこの保育園を卒園した)での先生や子どもたちの様子をいっぱいしゃべっている。親には見せない顔を「お姉ちゃん」には見せている。やっぱり仲がいいんだな。

いつもはたまりっぱなしの洗濯物をたたみ、周りをホンワカにしてくれる長女が一週間いなくなり、やっぱり寂しい。婿どのの快気祝いと次女の実習打ち上げで焼肉を食べに行くことにした。